

# 宣教支援センター

全国支援・地域協働プロジェクト  
バプテスト北九州地方連合  
宣教支援センター  
ニュースレター◆ 第2号

## もっと 元気に！

運営委員 國分美知子  
(防府バプテスト教会)



宣教支援センターが始動し、それぞれの教会の「教会元気プラン」を作るための支援をします、と呼びかけがされています。防府教会はこれに応え、最初のケースとして名乗りをあげます。わたしたちは待っていました、この時を。

防府教会が考え続けてきた「神さまによって出会わされた近くの隣人、遠くの隣人のところへでかけ、寄り添うために私たちは何をするか」を、このプラン作成によって明確にしたいと考えています。現状はどうか？何が課題か？打つ手は何か？教会員一人ひとりが「自分は何ができるか」考えます。支援センターの主事に一緒に考えてもらいます。出来上がったプランを、皆で実行します。どのようなことができるか、どのようなことが始まるか、これから起こることを想像すると、わくわくします。

防府教会は、宣教支援センター構想がまとまるまでの8年間、北九州連合の集會に、できるかぎり参加してきました。連合の諸教会の助けを切実に必要としていたからです。連合内のいくつかの教会が「消滅」していったことに痛みと悔いを覚えつつ、「次は私たちかもしれない」との危機感を抱いていたからです。

けれども、集會に熱心に出席し論議に加わるうちに「どの教会も宣教のあり方をめぐって模索中」なのだと知りました。そして私たちは「小さい教会だからこそ出来ることがある」ことに気づかされました。その気づきによっていつの間にか、防府教会は少し元気にされていました。

「教会元気プラン」ができ、実行に移される中で、防府教会はもっと元気になるでしょう。その元気を連合の諸教会の皆さまと分かち合いたい、北九州連合の28教会が神の国が実現する日まで、共に元気に歩ませていただきたいとせつに願い、祈ります。

## 連載

### 宣教支援センターとは何か（3）

前号では「出会い・関わり・助け合い」について、宣教支援センターの役割をお伝えしました。連載の最終回として、今号では連合と宣教支援センターとの関係について取り上げることにします。

#### ■なぜ必要か

バプテスト北九州地方連合（以下、連合と呼びます）は、北九州・山口・大分地区にあるバプテスト教会28教会が、協力伝道を目的に結成した信仰共同体です。宣教支援センターは教会の足腰を強くするため、また連合の機能を強化するために設けられた運動体です。

どちらも教会の働きを助けることが主な目的です。すでに連合があるのに、宣教支援センターが必要とされた理由はどこにあるのでしょうか？

#### ■思いをつなぐ 人をつなぐ

連合の役員のお多くは、牧師などの教役者が務めています。それぞれにご自分の教会での働きがあり、二足のわらじを履くような形で、教会の皆様方に祈られながら連合の業務に仕えています。

教会には主日礼拝をささげるため、日曜日に多くの人々が集います。たとえばA教会で、日曜日の午後に教会を元気にするための話し合いをするので、進行役を派遣してほしいという場合。連合はこのような相談窓口の役割を担ってきましたが、実際に役員の方々が足を運んで即座に対応することはなかなか難しい状況にありました。しかしこれからは、宣教支援センターの主事がそのようなお声をキャッチして皆様のも

とへお伺いします。そしてご一緒に話し合い、動いて、実現への橋渡しを行います。

教会全体にかかわることで誰に相談したらよいのか迷われた時には、どうぞセンター主事までご連絡ください。お話をお伺いした上で、最もふさわしいと思われる方におつなぎします。

#### ■連合の足腰を強くするために

連合はこれまでの間、「宣教支援センター」構想に向けた話し合いを進めていきながら、連合そのものの機構改革についても議論を積み重ねてきています。

宣教支援センターの大きな働きの一つは連合強化です。2015年度は委員会制度をよりよくしていくための準備の年と考えています。連合役員会に陪席させていただいたり、各委員会・連合壮年会・連合女性会の方々とお話をさせていただきながら、共に祈り合うことのできる関係を築いてまいります。

#### ■ここから始まる

「兄弟たちよ。わたしはすでに捕えたとは思っていない。ただこの一事を努めている。すなわち、後のものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ばしつつ、目標を目ざして走り、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。」（ピリピ人への手紙 3:13-14）

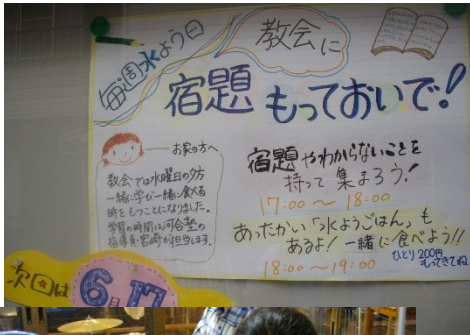
宣教支援センターは始まったばかりです。皆さん、どんどん会いましょう！たくさん話しましょう！

すべては主のご栄光のために



# 教会訪問記

## ③ 南小倉教会・・・6月15日（月）



住宅街の路地を進むと大きな掲示板に、「宿題もっておいで！」のポスター。南小倉教会では、今年度から学習支援の活動「水曜日はん」を行っているそうです。水曜日の夕方、教会に来て勉強をする。そのあとは教会のメンバーも加わっての夕食会。地域とともに歩もうとする教会の姿勢が感じられました。

教会組織から50年の節目を迎えるにあたり、教会の歴史を振り返って、教会の信仰告白を整えたいという思いが与えられたとのこと。いま教会では、信仰告白を見直すためのリレートークが熱く進行中。

教会学校は昨年からスタイルを一新して、子ども達と聖書劇づくりを始めています。聖書の一場面を、子ども達と脚本に仕上げていく。身体を動かしてみると意外な発見があって、今では子ども達の方が聖書研究の語り手になっているのだそうです。教会では大人の奉仕者までもが解放され、生きた聖書の学びが展開されています。

## ④ 富野教会・・・6月17日（水）



富野教会は、念願のポジティブオルガン（パイプオルガン）の奉獻式を6月21日（日）に控え、喜びのなかでの教会訪問となりました。

1950年の教会創立から65年の歩みのなかで、2008年のみくに幼稚園の閉園はとりわけ大きな出来事でしたが、幼稚園の卒園生との絆は、文書伝道を通じて、今も守られているそうです。

地域向けに作られている教会の機関誌『みくにのたね』（年3～4回発行）には、卒園生が働いておられるお店から、毎号広告が寄せられ、掲載されています。

高齢者向けの活動として始めた「いきいきサロン」では、パソコンの操作を学ぶ勉強会が盛況。伝道執事の小川姉も参加者のお一人で、「執事どうしのやり取りもメールが使えるようになって、とても便利になりました」と喜んでいらっしゃいました。





## ■センター事務局

6月27日(土)、サポート教会である東八幡キリスト教会では、壮年会を中心に事務室の様態替えを行いました。熱気あふれるチームワークで二つの書棚を大移動。齊藤主事の机が新たに設置され、事務局らしくなってきました。壮年会の皆様、ありがとうございました。



## ■お知らせ

宣教支援センター開所式  
並びに齊藤弘司主事就任式

日時 9月20日(日) 15:30

場所 東八幡キリスト教会

皆様ぜひご予約に入れてお運びください。  
連合の仲間300人が一同に会する大集会  
を目指して、準備を始めています!

## ■主事の予定

- 7/22(水) 大分教会訪問  
白杵教会訪問
- 24(金) 連合伝道委員会出席
- 27(月) 飯塚教会訪問  
八幡教会訪問(予定)
- 29(水) 芦屋教会訪問
- 8/5(水) 小倉春ヶ丘教会訪問  
高須教会訪問



## ■編集後記

7月5日(日)シオン山教会にて連合臨時総会が行われました。宣教支援センターの2015年度活動方針案・修正予算案等が可決され、心より感謝申し上げます。

当日は21教会からのご出席があり、大変励まされました。(齊藤)

発行日	2015年7月17日
発行責任者	山田 雄次
発行所	
〒805-0015	
北九州市八幡東区荒生田 2-1-40	
東八幡キリスト教会内	
連合宣教支援センター事務局	
TEL&FAX (093)651-6669	